

いたばし元気帳
2019年春号

日本共産党

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団
板橋区板橋 2-66-1 Tel3579-2717

いのち
暮らし
まもりたい

日本共産党板橋区議会議員 **かなざきふみこ**  ご意見・ご要望をお寄せください。

かなざき文子

区議会議員として28年…。日々の生活相談に、政治が貧困と格差を広げ続けていると感じ続けています。政治が一番責任を持つべき「社会保障」が安倍政権により「自己責任」へと変えられ、消費税は引き上げ、軍事費をますます増やしています。

そして坂本区政も集会所や学校の統廃合、児童館も大幅に削り、介護保険料は上がる一方なのに、再開発事業や基金への積み立ては優先という姿勢です。この姿勢を転換することなしに、一人一人の暮らしは良くなりません。一人ひとりの命が大切にできる政治にしていきたいため、力あわせていきましょう。

プロフィール

1959年生まれ。兵庫県神戸市出身。大阪音楽大学音楽学部音楽科卒業。都立障害児学校、板橋区立小学校で教諭。現在区議7期目。健康福祉委員、東上線連続立体化・沿線安全対策調査特別委員会委員。家族は夫と子猫。趣味はうたうこと、山を登ること。

●主な活動地域●

栄町・中板橋・双葉町・宮本町・南常盤台・仲町・弥生町・氷川町・富士見町・大和町・常盤台1丁目 60～68



5つの町会・自治会が議会に提出した板九小廃校凍結を求める請願の「採択」を求めて討論に立つ。(2016.12.12)

板橋第九小学校の廃校反対の運動に町会・自治会をはじめ、地域住民、近隣保育園といっしょに取り組み続けてきました。

学区の児童数は増加傾向になっていたにもかかわらず、区は一方的に「廃校ありき」で2017(平成29)年度をもって板橋第九小学校を廃校しました。

近隣の5つの町会・自治会が区議会へ7730筆の署名を添え請願を提出しましたが、自民・公明などが「不採択」としました。子どもたちのよりよい教育環境をつくる区政へ転換を!

住民を追い出し、ハッピーロード 大山商店街を170メートルにわたり分断する特定整備路線 補助26号線の認可取り下げを

2015(平成27)年2月に国は特定整備路線補助第26号線を事業認可しました。その後、地域住民の描いていた「まちづくり」は無視され、26号線ありき、さらに道路建設とあわせて高層ビルが乱立のゼネコンのためのまちづくりが強行され、商店街は26号線で170mにわたり分断へ。これではつぶされてしまいます。

まちづくりは地域住民の願いに沿ってこそです。



国土交通省に対し26号線の認可取り下げを要請して発言(2018.5.23)

平和と憲法守り抜く 核兵器禁止条約の批准を

2017年に採択され、調印・批准の受付が始まった核兵器禁止条約。核兵器の使用も実験も、威嚇も禁止した画期的な条約です。区議会では国に批准を求める陳情が審議されていますが、自民党、公明党の反対で採択されていません。

安倍首相は、憲法に自衛隊を書き込んで海外での武力行使を無制限にする改憲案をねらっています。「安倍改憲NO! 3000万人署名」を



広げ、国民の世論と運動、市民と野党の共闘をつよめるため、私もがんばります。